



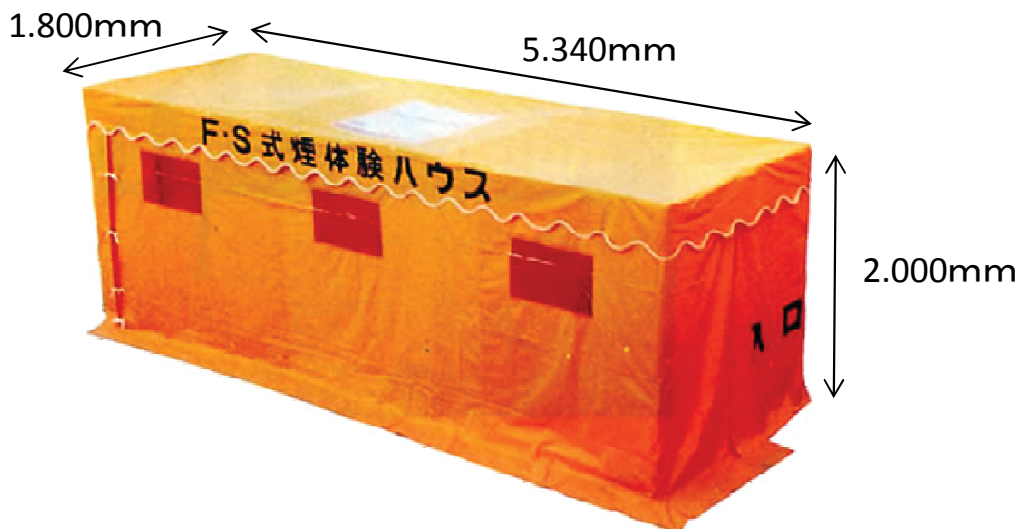
FS式煙体験ハウス FS-13S型

火災による死因の3割は煙に巻かれて窒息したことによります。＊1

その煙の怖さを、体験して学ぶ煙体験ハウス。

学校における避難訓練や自治会における防災訓練の一環としてご利用下さい。

煙の怖さを体験して学ぶ！！



当社の煙体験ハウスは、煙がどのように動くのかを目で見て確認して頂くために、オレンジ色の生地を使用しています。



当社



A社



B社

特徴

- 美しい外観。
- 過酷な使用に耐える頑丈な設計。
- 運搬保管に便利なコンパクト設計。
- 防災生地を使用。
- 出入り口は便利なファスナー開閉式。
- 自分で逃げ道を探すために、内部を仕切り幕により簡単な迷路にしています。

第1-1-9表 火災による死因別死者発生状況の推移

＊1 総務省・消防庁ホームページより

(各年中)
(人、%)

年別	区分	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折等	自殺	その他	不明	総計
平成21年		565 (30.1)	571 (30.4)	13 (0.7)	564 (30.0)	49 (2.6)	115 (6.1)	1,877 (100.0)
平成22年		559 (32.2)	531 (30.6)	3 (0.2)	433 (24.9)	63 (3.6)	149 (8.6)	1,738 (100.0)
平成23年		563 (31.9)	544 (30.8)	5 (0.3)	418 (23.7)	60 (3.4)	176 (10.0)	1,766 (100.0)
平成24年		535 (31.1)	581 (33.8)	4 (0.2)	387 (22.5)	67 (3.9)	147 (8.5)	1,721 (100.0)
平成25年		493 (30.3)	573 (35.3)	2 (0.1)	337 (20.7)	65 (4.0)	155 (9.5)	1,625 (100.0)

平成25年中の火災による死因は、火傷が573人(35.3%)と最も多く、次いで一酸化炭素中毒・窒息が493人(30.3%)となっている(第1-1-9表)。